

決算特別委員会の設置

「平成20年度各会計決算の認定」9月市議会定例会において審査
平成22年度予算編成に反映を求める！

9月定例会

市議会9月定例会は、9月1日から18日までの18日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成21年度一般会計補正予算等をはじめ、条例等の市長提出議案9件（追加議案1件を含む）、議員提出議案2件の合計11件です。

審議の結果、市長提出議案の9件及び議員提出議案2件は原案どおり可決、認定及び同意がされました。

本会議

◇9月1日に本会議を開き、まず会期を18日までの18日間と決めた後に、平成21年度一般会計補正予算をはじめとした予算・条例等の市長提出議案8件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、議案第73号は、本市において41年ぶり2人目の名誉市民の推挙であることと鑑み、他の議案と切り離し先に採決し、賛成全員で推挙することに同意しました。

◇4日、7日は代表質問及び一般質問が行われ、議長を除く15名の議員全員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

次に、質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託するとともに、決算特別委員会の設置を決め、委員の選任を行いました。

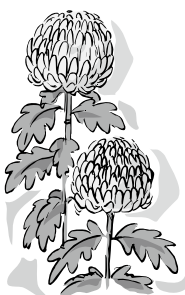
◎なお、決算特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

委員長	島川 実
副委員長	相川 隆二
委員	原 明
委員	開田 晃江
委員	中川 勲
委員	上田 昌孝

◇最終日の18日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長並びに決算特別委員長から、それぞれ付託議案の審査結果等の報告があり、採決の結果いずれも委員長の報告のとおり可決又は認定といたしました。

その後、市長から人事案件として、教育委員会の委員に浦田久美子氏（開）の任命が追加提案され、同意としました。

続いて、議員提出議案2件が提出され、提案理由説明の後に行われた採決では、可決されました。



日誌

21年8月

6日 財政健全化対策

特別委員会協議会

10日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

11日 富山県日韓友好議員連盟

12日 富山県市議会議長会

臨時総会・県知事との懇談会

17日 新川育成牧場組合議会臨時会

19日 産業厚生建設委員会協議会

25日 議会運営委員会

定例議員協議会

9月 9月定例会

18日 富山地域衛生組合議会視察研修

2日 ところ産業まつり

13日 ところ産業まつり

18日 議会報編集委員会

5日 議会報編集委員会

9日 産業厚生建設委員会協議会

定例議員協議会

財政健全化対策

特別委員会協議会

9月 9月定例会

18日 富山地域衛生組合議会視察研修

2日 ところ産業まつり

13日 ところ産業まつり

18日 議会報編集委員会

5日 議会報編集委員会

9日 産業厚生建設委員会協議会

定例議員協議会

財政健全化対策

特別委員会協議会

14日 議会報編集委員会
総務文教消防委員会協議会

魚津・黒部・滑川市議会議員

研修・交流会（黒部市）

15日 千葉県富里市議会より行政視察

16日 東京都武蔵野市議会より

行政視察

20日 千葉県館山市議会より行政視察

23日 富山地区広域圏事務組合

27日 滑川中新川地区広域情報

28日 佐賀県伊万里市議会より

行政視察

行政視察

一代表質問

9月定例会では15名の議員が質問を行い、53項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配布する予定です）
また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項

代表質問



会派「一心クラブ」会長

1 中屋市長の政治姿勢と三選出馬について

2 政権交代について

3 新型インフルエンザについて

4 第2期まちづくり交付金事業について

中川 勲 議員

Q 市長の政治姿勢と三選出馬について

A 平成14年2月初当選以来、7年5カ月間ふるさと滑川市を愛する思いはだれにも負けない。「愛郷無限」この4文字に託し、市民の目線に立つて、市民とともに市政を論じて全力投球してきた。

1期目は私にとつて忘れられない市町村合併では、議会、アンケートにおいて賛否両論があつたが、当面は単独市政を決断させていただいた。2期目においては、市民交流プラザの建設地を含めて議論沸騰した問題であつたが、オープンしてから今日まで多くの方々に利用いただき好評をいただいております、おおむね評価がいただけたと思う。また、「福祉都市日本一」を目指

す」スローガンを掲げさせていただき、介護予防拠点整備事業として地区公民館を増設しました。

自治体の行う仕事は、市民に無限の愛情を注ぐところからはじめて成り立つ。それを見ると、市民の皆様が三たび信任を与えていただけるものであれば、引き続き市政を担当させていただきます。

Q 政権交代について

A 民主政治の健全な発展のためには、政権交代があつてよいと思う。政治の腐敗というものを政権交代によつて防ぐことができ、また政策の偏りというものも是正される。現在のところ、公共事業は抜本的に見直す、大型事業は見直すということですが具体的に明らかになっていない。これから

国の動きを見ながら、従来のつき合いある国会議員の先生はもろんのこ

と民主党の国会議員の方々にも、滑川発展の為にご尽力いただくように協力要請を行っていく。

Q 市民への新型インフルエンザ防止対策は万全か。

A せきエチケット、うがい、手洗いの励行、マスクの着用など、感染予防の徹底に努める。個人の免疫力を高めるため、日ごろから休養・栄養を十分にとり、体力をつけることが一番の予防習慣。

Q 都市再生整備計画（案）について

A 事業を通じて、市民が住んでみたい、行ってみたい、あるいは交流人口増加、観光の皆さんも行ってみたいと思える環境整備に努めたい。

一般質問



相川 隆二 議員

1 ほたるいかミュージアムの本格的リニューアルの見通しについて
2 第2期まちづくり交付金事業について
3 急げ、薬物乱用防止対策の啓発活動の徹底を！

Q 平成11年度入館者数約8万4千人で入館料約4千500万円、平成20年度入館者数約5万8千人で入館料3千340万円で通減傾向にあり、経緯と現状認識を問う。

A 当時の当局の試算では年間17万人を想定していたが、オープン後数年は10万人弱を維持していた。しかし現在は案の定5万人台に至っている。

当市の観光資源はほたるいかしかないとの認識から、多くのメディアを通しての宣伝効果を考慮すれば、それ相応の市負担はやむを得ない。

当市財政規模から考えると毎年1億円の負担は耐え難い状況と認識している。現時点では委託予算・人件費等の削減で当初より市費負担は改善され8千万円前後である。

しかしこれ以上の人件費削減は無理であり、開館10年を契機にまちづくり交付金を利用して、多少なりともリニューアルを図りたいと考えている。

Q エリア内の関係町内会との懇談会開催は当該事業の正否を左右する絶対不可欠要件との持論に関する見解を求める。

A 今春、雪嶋・瀬羽町地区において説明会を1回開催し、参加者は8名であり、地域活性化の為に「やらないより、やって頂いた方が良い。」との皆さんの意見でした。

また昨晩開催の西地区自治会連合会の会合で当該事業の説明をさせて頂きましたが、質問がありませんでした。商工会議所については、先般説明会を開催させて頂き、建設的な意見も拝聴し、今後

も様々な各層と協議を進めながら官民協働で事業を推進したい。

Q 市内小中学校で年齢に応じた研修会を開催し「ダメ、ゼツタイ」の思想を啓発すべきと考えるが？

A 最近では犯罪が低年齢化し凶悪事件が多発している。学校教育の中で薬物に絶対触れたらダメ、吸ったらダメの研修は必要と思います。現在、薬物乱用防止対策として小学校高学年と中学生の教科書でも取り上げており、保健授業においてビデオ・パンフレットを活用している。また関係機関の協力を得て薬物乱用の怖さを訴える教室も各学校で行っている。今、特にマスコミ等で報道されている機会を捉えて薬物乱用は怖いものであることを徹底したいと思います。

また昨晩開催の西地区自治会連合会の会合で当該事業の説明をさせて頂きましたが、質問がありませんでした。商工会議所については、先般説明会を開催させて頂き、建設的な意見も拝聴し、今後

一般質問



原 明 議員

1 農業振興について
2 地域の安全・安心について
3 東福寺野自然公園について

Q 耕作放棄地解消に向け滑川独自の事業で推進されたい。

A 耕作放棄地については、農業委員や農協の営農指導員などから情報を集め対策をしている。

受け手となる営農組織への大型機械の強化、放棄地を利用した学校給食用の野菜などの栽培を実施していきたい。また、市では転作休耕田への助成をしている。今後、このような支援も含めて、耕作放棄地の解消に努めていきたい。

Q 地域の安全・安心、学校安全パトロール隊の活動状況について

A 学校安全パトロール隊は、7校区すべての小学校区で結成されており、地域ぐるみの活動が推進されている。現在、24のパトロール隊が結成され、1100人を超える皆さんが、子供の登下校等の見守り活動に参加されている。今後も、警察や防犯協会等と連携し講習会や情報交換会を開催し、パトロール隊の活動を支援していきたい。

Q 東福寺野自然公園の入園者、各施設利用者の状況は。

A 入園者は、平成20年度、4万3千961人であり16年度と比べ63%伸びている。パークゴルフ場は、2万441人であり16年

度と比べ53%増となっている。SLホテルは、平成16年度と比べ20年度は、34%増加となっている。

Q 入園料、各施設利用料の見直しは。

A 割引や幼児の無料化等施設利用料の見直しについては、受益者負担の原則は当然であると考えている。公園収入を見ても現段階では厳しい部分があるが、パークゴルフ場の増設もあり、全体の見直しが必要となつてくると思われ、今後、十分研究したいと考えている。

度と比べ53%増となっている。SLホテルは、平成16年度と比べ20年度は、34%増加となっている。

Q 入園料、各施設利用料の見直しは。

A 割引や幼児の無料化等施設利用料の見直しについては、受益者負担の原則は当然であると考えている。公園収入を見ても現段階では厳しい部分があるが、パークゴルフ場の増設もあり、全体の見直しが必要となつてくると思われ、今後、十分研究したいと考えている。



農地パトロール



東福寺野自然公園（ふわふわドーム）

一般質問



1 税、使用料等の滞納や徴収について 2 荒俣市営住宅の環境整備等について

前田 新作 議員

Q 最近の市民税、固定資産税、国保税等の税や上下水道料、保育料、住宅使用料等について、滞納や不能欠損等はどうなっているのか。

A 市民税等については、景気の低迷を受け収納率は若干下がっている。上下水道料についても滞納が発生している。保育料についても、平成18年度までは滞納はなかったが、平成19年度、20年度には滞納が発生している。また、住宅使用料についても滞納が依然として発生している。

Q 臨戸徴収の実績はどうなっているのか。

A 臨戸徴収は年3回、3月、7月、12月に実施している。税務課職員と管理職で実施しているが、全体で訪問件数989件、徴

收件数195件、徴収額384万円になって、成果として上がっていると理解している。

Q 悪質な滞納者に対して、財産差し押さえ等の実績はどうなっているのか。

A 差し押さえの実績は、昨年度は162件の預貯金調査を実施し、その内差し押さえは28件、203万円となっている。

Q 補正予算にある荒俣住宅環境整備（広場造成）工事の内容は。

A 市営住宅南側の土地1300㎡を造成し、ネットフェンスの整備を行う。

Q 過去に環境整備でクローバー等の植栽工事が実施されたようだが、効果が見えていない。（更なる対策が必要と思うが）

A 前年度からクローバー

の種子を吹き付けた。今年も実施し、5月、6月は順調に生育していたが、その後雑草に負けて効果が得られていない。

来年度には、除草の回数を増やすか、ワイルドフラワー（いろいろな種子が入っており、春から秋にかけていろいろな花が咲くもの）を散布するか検討していく。

Q 今後、市営住宅の建設が見込まれないなら、敷地の有効利用を考えるべきでないか（民間への売却などを含めて）。

A 現在、市営住宅の建設予定はない。今後民間住宅の供給具合、公営住宅の在り方、用地管理等を含めて研究していく。その他の質問事項
Q 早月川左岸の開発等について

一般質問



1 福祉について 2 教育について 3 人口減少対策

開田 晃 江 議員

Q 障がいのある人が入浴券を使うことに限界がある場合、理容・美容券などにも使える福祉券とし、入浴にも理容・美容にも使え、選択のできるサービス券にされたい。

A 福祉の担当部署も、重度の障がいを持った方は、入浴施設へ行つて入るといことはなかなか難しく、どのようなサービスができるか、この一年研究しており、福祉の担当として、熱意をもつて現在検討している。

Q 田中幼稚園が閉園を迎える中で、

・滑川市の学校も時代の変化に対応し、統合されたり、田中幼稚園のように閉園になったりと歴史を刻んできていますが、これらの施設の沿革や特

徴など、数え切れないくらい貴重な資料を後世にしっかりと伝えるためにも、博物館に教育の殿堂「学校の歴史」のコーナーの設置は考えられないか。

A 自分達の地域の学校はこういう歴史、沿革があるのかと認識していた、そのことにも意義があると思っている。例として記念の節目の年に企画展という形で考えてもいいと思っている。

Q 子育て支援も高く評価されている。少子化対策の観点から、どのような効果を得ているか。

A 子育てに対して、不安感とか、孤独感を感じる保護者が増加しているの、子育て支援センターや、子育てミニサロンの開設などを行い、子育ての不安感などを緩和している。そういう施策の中で安心して産み、育てるためある程度効果を挙げていると思っている。

Q 当市の人口の推移はどうなっているか。

A 平成17年の3万4千300人台をピークに、わずかず減少傾向に転じている。平成20年度末、この3月末には3万3千913人で、ピーク時から約400人の減となっている。

一般質問



1 新型インフルエンザによる市民への対応を問う
2 社会環境の整備に合わせ、雇用促進住宅の購入を
3 海洋高校の跡地利用は
4 市民会館大ホールの改修について

澤谷 清 議員

Q 対策費100万円を計上してあるが、その内容は。

A マスクや消毒剤など感染拡大を抑制するための消耗品や、情報提供するための費用を計上した。

Q 市民に必要なワクチンの数量を見積もっているのか。また、数量は、確保されるのか。

A 本市では、1万7千人分のワクチンが必要と推測される。必要量の確保は難しいと危惧している。

Q 感染拡大時における感染者の受入れ体制は。

A 医療体制は、県が主導し、本市は富山医療圏新型インフルエンザ対策協議会で対応を協議している。厚生連滑川病院で

は現在30床の重症患者の入院確保ができています。

Q 改めて上小泉宿舎を購入すべきでは。

A 本年3月31日付で購入しないと回答をした。

築年数が古く、39年以上経過しており、老朽化という点で購入しないと決めた。

Q 統合後の海洋高校跡地の利活用について、県と協議を進めているのか。また、地元地区の考えを聞いているのか。

A 平成24年度から生徒がいなくなるが、海洋高校は現在県の財産であり、まだ生徒がいる。平成22年度ぐらいいは滑川市としての考えを示したい。地元には地元の思いがあり具体化にむけて調



海洋高校

整しながら県に申し入りたい。

Q 改修工事を中止して、市庁舎と一体化した複合施設として、新たに建設する考えはないか。

A 複合施設としてではなく、市庁舎だけを建設しても一切補助金が入らない。市の自主財源でやらざるを得ない中で多額の金額を要することは、現時点では無理と思う。

一般質問



国民健康保険の諸問題について
① 国保税収納率の低下をどうみているか
② 新型インフルエンザ対策―無保険者への対応を
③ 窓口負担の減免制度をつくれ

古沢 利之 議員

受診できる。

Q 医療機関や、資格証明書交付世帯にどう広報したか。

A 医師会を通じて医療機関に周知したが、対象世帯にはしていない。

Q 対象者に知らされていないならば意味がない。大阪府堺市などは通達を受けて、対象世帯に短期保険証を送っている。市民の命と健康を守る役割を発揮してもらいたい。

A 今後、流行が疑われるので、早急に対処したい。

Q 医療機関の窓口負担について、以前質問したときには減免制度は考えていないとの答弁であった。しかし、国保法44条

には、減免の規定がある。窓口での負担金の支払いが困難な方が増える

ことが予想される。厚生労働省も、減免について動き出すと報道されている。当市でも対応が必要だ。

A 国保法44条で、窓口負担について減免できるという規定になっている。指摘のとおり、厚生労働省は今年度、モデル事業の形で医療機関と協力して、自治体を取り組むことで動き出している。

市には44条に基づく要綱や条例等はない。国は、来年3月までのこのモデル事業を検証して、運用指針を定めたとしているので、その動きを注視して対応したい。

その他の質問事項

Q 多重債務者対策について

Q 今冬の除雪について

一般質問



1 県との人事交流は、交流ポストの固定化の弊害を排除せよ
2 市民大ホールの改修が、橋場・瀬羽町通りの賑わいとどう結びつくのか
3 商業地区でなく、高齢者にやさしいまちづくりを

島 川 実 議員

Q 国の「地方分権推進計画」によると、国と県・県と市の人事交流は、対等と交流ポスト（市では総務部長）の長期固定化による弊害の排除を原則としている。

A 県では、市が要請したポストにふさわしい人材を派遣されており、市勢伸展に尽力を頂いている。職員の意欲、士気を損なうことのないよう配慮していきたい。

Q 第2期まちづくり交付金事業では、市民大ホールの改修が、橋場・瀬羽町通りの賑わいとどう結びつくのか説明されたい。

A 改修された宮崎家と、寄付された土蔵の改修と連動した仕掛けにより賑わいは創出できると思う。

Q 落合橋から瀬横町の角まで両側の家屋は約40

軒分あるが、営業店はクリーニング取次店も含め10軒しかない。空地、駐車場5軒、空家11軒で後継者がおらず西地区の高齢化（現在31％）はさらにすすむので、高齢者にやさしいまちづくりをすべき。

A 旧市街地は過疎化現象が激しい、そして高齢者のまちなつていく。これをどう歯止めをかけるか、そういう観点から多少なりとも人の賑わいが創出する、そんな仕掛けをやらうじゃないか、というのがそもそも中心市街地の活性化だと思う。

Q 橋場に親水公園をつくり、護岸を崩して親水広場を作るというイメージが、市広報9月号にのっている。中川水系の水害に苦しむ住民の神経を逆なでするものである。用

地買収等の予算は、改修や放水路に回されたい。

A 沖田川の改修（放水路事業）は、平成28年度完

成予定を一年でも早く前倒ししてくれと県へ強く要望している。他の事業に予算は回せない。

Q 土蔵再生事業に4千万円計上されている。寄付される土地には建屋がある。従来、建物つきの土地は取り壊し費用がかかるというところで寄付は受けな

いという方針ではなかったのか。今回の建屋の取り壊し費用は幾らか。また、東京へ寄付の話し合いに行つた際、利害関係者が同行したのではないか。

A 建屋つき寄付の例あり。取り壊し費用は約700万円と試算。市職員は公費による出張であり、その他は個人情報で開示できない。

一般質問



1 女性のがん検診無料化について
2 新型インフルエンザ対策について
3 医療費無料化について
4 低炭素社会について

野 末 利 夫 議員

Q 国は、がん検診推進事業として、子宮頸がん検診とマンモグラフィーによる検査を無料化。市において、対象外として

いる子宮がん検診の体部（細胞診）と、乳がん検診の超音波検査（エコ診断）も独自に無料化を。

A 検診体制は整備するが、子宮がんの体部検診の無料化は考えていない。乳がん検診の、超音波検査は検証段階であり、検査手段として取り入れられていない。今後

も、国からの検診方法の指示に基づき実施していく。

Q 学校（保護者）自治会の連絡網は大丈夫か。

A 小中学校では、各学級ごとに緊急連絡網を作成しており、児童・生徒の家庭で保管している。緊急時などの連絡について

は、教職員の事態への共通認識のもと、この緊急連絡網を活用し、保護者児童・生徒への正確で素早い連絡を行っている。

Q 公共施設等には、消毒液が設置されているが、他の集客施設等への設置指導は。

A 市内事業所132カ所にチラシを配布しお願いをしている。強制はできないので、事業者の理解をいただき、協力をお願いしている。今後必要に応じ対応していきたい。

Q 生活支援である小学校6年生までの通院費無料化の実施は。

A 通院費の無料化ということですが、滑川は今は6年生までをとりあえず入院費については無料化している。平成21年度の新年度の予算要望の中

で、会派のほうからも強い要請が出ており、十分検討させていただきたい。

Q 本市も低燃料費低公害車を新たに導入すること。富山市では排ガスの出ない電気自動車を導入している。環境保全の観点から導入についての考えは。

A 電気自動車は、走行中に二酸化炭素を排出しないことから、導入については環境保全に非常に有効である。しかし、現時点では、1回の充電で走行できる距離が短いことや急速充電できる設備が周りにないということもあり、今後、車両の技術開発や充電施設等のインフラ整備が進めば、導入について検討していきたい。

一般質問



高橋 久光 議員

- 1 滑川市のスポーツ施策について
- 2 中小河川敷及び空地の管理について
- 3 市内鳥獣対策(その2)

Q 市内小中学校におけるスポーツ競技の指導と効果、併せて日本古来のスポーツ(相撲・柔道・剣道等)の周知指導及び指導者の配置はされているか。

A 小学生のスポーツ競技は、スポーツ少年団やなめりCANクラブ・空手・ソフトテニス等のスポーツについて、地域指導者がボランティアで熱心に指導されたり、民間クラブに入会し活動していただいている。また、柔道・剣道・空手・弓道の4武道は、市内競技団体の指導者が熱心に指導し活動している。スポーツ人口についても、少子高齢化の進展、生活環境の利便化に伴いスポーツに対するニーズは多様化・個別化しており、それぞれ

のライフスタイルに応じ親しまれている。

Q 市内を流れる中小河川敷、草が茂り中州がたまり増水時には水の流れが悪く危険。病害虫の巣ともなっている。

A 二級河川については、毎年県に要望して状況を見ながら行ってもらっている。その他市では、直営班等に対応している状況で、今後一層注視しながら雑草管理にも対応し県にも要望していきたいと考えている。市内空地等については、土地管理者・所有者により指導をしてまいりたいと考えている。

Q 6月定例議会でも取り上げましたが、サギ対策の対応ありがとうございます。今後のカラス・クマ・サル等の対策

と、イノシシの出没はあるか。

A サルについては、東加積・山加積地区で、自家野菜被害の報告があり、滑川市有害鳥獣捕獲隊と連携して、捕獲と威嚇を実施した。今後予想されるので、広報やホームページで呼びかけたり、効果的な電気柵の設置を呼びかけている。いずれにしても、今はいなくても、いつまた来るかわからない。上市・魚津等といったように、広域的な取り組みということも検討を加えていきたいと思っています。



一般質問



高木 悦子 議員

- 1 火葬場改修の早期着手を！
- 2 ひかりの街にふさわしい公園を！
- 3 市民会館大ホールを文化の拠点に！

Q 今年度の予算に、「火葬場整備調査費」が計上されているが、現時点での調査の状況は？

A 現況調査を終え、整備方針等が検討されて、解決方法を調査している。

Q 火葬場周辺の住民は我慢を強いられている。火葬場改修の早期着手を！

A 周辺住民の方が大変迷惑をこうむっているとして整備に努めたい。

Q 第2期まちづくり交付金事業の、中滑川駅前のポケットパークや橋場の親水公園、街なか休憩スペースに、滑川らしい特色が必要ではないか？

A 事業の実施設計を行う際に、滑川のすばらしい海、山、ホタルイカなどを活用した、滑川らしい特色を盛り込んでいきたい。

Q まちの中にいくつもの公園があるが、公園に人が集まってくる仕掛けが必要ではないか？

A 公園・緑地は避難場所としても必要。今後も、公園については住民の方が気軽に休憩できる施設として整備に努めたい。

Q 市民会館大ホールを、文化の受け皿となる施設にすることによって、市民の皆さんの文化度の向上につながるかと考える。

A 「文化の拠点」としての施設の内容を充実すべきと考える。

A 「文化の拠点」という言葉に近づけられるか分からないが、現在の西地区コミュニティホールよりも良いものになりたいと考えている。

Q 「滑川はどうして中途半端なものしか作らないのか」とよく聞く。必要なものを利用者から聞く前に、予算の総枠ありきが現状ではないか。プ口的意見を聞いて必要な設備を積算した結果、公債を発行するに至ったとしても、利用したくなる施設にすべきではないか。

A 基幹事業として採択されるには避難施設と兼務しなければならない。100%満足はいかないが、まあ良かったと言われる施設に向け努力する。

Q 近隣のホールではないろいろなイベントを次々やっている。最低限イベントが呼べる中身のあるものにして欲しい。

A 意見として理解はできる。議員の意見に沿うように努力したい。

一般質問



1 住宅用火災警報器について 2 夏休み児童保育について 3 早月加積地区の生活環境について

岩 城 晶 巳 議員

Q義務化された住宅用火災警報器の設置状況は。

A滑川市における8月末現在の設置率は、一般住宅では58%、アパート共同住宅では93%です。昨年5月末の調査では、一般住宅が39・9%、アパート共同住宅で67・9%でした。

Q去年よりも相当アップしているが普及策はどのようにしているか。

A国の緊急雇用創出事業で、3名の方に設置促進と設置率の調査を行った。また、市の広報やホームページに掲載した。今後も町内会の防火教室等で設置を働きかけていく計画である。

Q夏休み児童保育の今年度の総括について

A昨年の登録人数224人から236人に利用があつ

た。東部小校区は、今年度より地区公民館で実施され、他の団体と行事が重なり調整に戸惑ったと聞かれています。

Q本来、児童保育は公民館で実施するには適していない。以前より言っているように、学校の敷地内に育成クラブの建物

を建てる考えは。
A本来なら学校の敷地内にあるのが理想的ですが、片や各地区に児童館を建てるという要望も並行してあるので、そういうものを含めて総合的に判断をしていきたい。

Qこの7月に完成した、東滑川駅の屋根付き駐輪場は40台しか停めれない。最初は70〜80台停めるはずだった。もう一棟建てるスペースがある。また、「のるマイカー」

の栗山ルートは無駄な回りがあると利用者から苦情を聞く。さらに、東部小北側交差点の信号設置はいつか。

A駅前広場のスペースを確保するため、設計段階で少なくなり、不足分は区画線を設置し柵の移設や新設を行い維持管理に努めたい。また、「のるマイカー」の栗山ルート

については、苦情は承知しており利用者の要望を伺いながら次の改正に検討したい。信号機については今年度中に設置されると聞いている。児童の交通安全上から一日も早く設置されるよう県公安委員会に働きかけたい。

その他の質問事項
Q私設消防について
Q実のなる樹木の植栽事業について

一般質問



1 早月水系沿いの整備促進について 2 地域の偉人の記念公園整備について

浦 田 竹 昭 議員

Q東部山麓道路（入会橋〜養輪地内）の改良事業の現況・今後の整備計画について、並びに県道虎谷大榎線（上大浦地内〜入会橋）の改良事業は、東部山麓道路と関連性があり、同時に整備しなければならぬ事業で、その現況について問う。

A20年度は、河川測量や路線測量などの調査、21年度は、河川の占用協議のための詳細設計作成中である。県道虎谷大榎線は、東部山麓道路の一部となるもので、線形改良の必要があり、県に強く要望していく。

Qみのわ温泉・テニス村は、東部山麓道路の開通により、集客数の増加も見込まれ、広域的な観光施設としての位置づけ、並びに施設の短期改修、

中長期改良・整備計画について問う。
A建物・施設の外壁改修及び風呂場の改修等を考えており、本市唯一の温泉施設として、将来、東部山麓道路の開通に併せて、広域観光の拠点になればという思いで整備を検討していきたい。

Q長大トンネルで北アルプス直下を貫通して富山と長野を結び、アルプス縦貫道路構想の、現状、そしてルート案並びに本市の取り組み姿勢についての見解を問う。

A県の総合計画でも長期構想の中に取り上げられており、関係自治体が陳情・要望活動を行っている。上市ルートが一番興味深いルートであるとみており、関係機関・関係団体等の動向を注意深

く見守りたい。
Q本市初めての名誉市民である石坂豊一氏の孫に当たる誠一氏が、大崎野の生誕の地である宅地を市に寄付をしたという意向であることから、地区では地域の誇りとシンボルとして、石坂豊一氏の記念碑を建立し、記念公園として整備できないかとの要望について見解を問う。

A名誉市民の功績を讃え後世に伝えるということで、記念公園の整備というのも名誉市民の方を顕彰する一つの手段であると認識しており、地元

の意向なども伺いながら、今後、十分検討させていただきたい。

その他の質問事項
Q中山間地域の人口減少、少子化、担い手対策について

一般質問



地域の安心・安全について

中島 勲 議員

・居住環境の整備

Q市街地活性化推進協議会のこれまでの実績と今後の方向性はどうか。

A平成18年度から11名の委員により8回の会合を開き、市街地の活性化やまちなか再生について検討をしていただいた。今後も定期的に開催することにより、提言等をいただきたいと考えている。

Q空き家・空き地情報バンクの現在までの登録数、利用者数について問う。

A18年度の開始から4件の成立があり、おおむね順調に制度が活用されている。登録数は31件だが要望の多い賃貸物件が2件と少ない。今後ともPRし活用件数の増加を図っていきたい。

・町部における防災

Qゲリラ豪雨の名の通り、いつ、どこで浸水があるかわからない都市型洪水についての当局の考え、対応はどうか。

A護岸のかき上げや水門の自動化などで一定の効果があった。また、日頃から関係部署と情報を共有し雨の状況を事前に判断している。例年浸水被害がある町内会に土のうの配布を行っているが、根本的な解決は沖田川放水路の早期完成と考えており国・県へ強く要望していきたい。

・地域コミュニティ

Q昨年3月でのキャラバンメイトは9名、認知症サポーターは0であったが、現況をお尋ねします。

A今年の8月末では、キャラバンメイト22名・認知症サポーター59名となっています。

Q今後の町内会は、役員の高齢化・固定化・なり手不足などで力の低下が見解を問う。

A地域の安心・安全の中における行政の役割地域協働体については、各種の福祉施策を展開する時に、地区で取り組む事業や地域の課題を把握し、行政と町内会とが一体となって自治というものを考えていかねばという思いを強くしているところです。

その他の質問事項
Q教育の向上について

一般質問



1 財政立て直しへの意欲を示されたい 2 沖田川水害対策の今後について

上田 昌孝 議員

Q実質公債費比率の目標は最低でも15%以下が求められると私は考える。平成23年度には18%以下にするということでも小幡課長も前任者の坪川課長も頑張って財政再建の方

向づけは順調に滑り出したと思っている。議会も財政健全化対策特別委員会をつくってよかったと思っている。18%以下は協議で起債できるラインだが18%ギリギリまたは18%を超え許可されない

と起債できなくなる。やはり安全圏は15%という線が求められる。

富山市は11・7%、多治見市は8・9%、滑川市は23・1%である。シビアに押えることによつて、その結果、自由に行政サービスや事業に使える金が出てくるので

ある。前任者の坪川課長への質問時の回答は、「今の23・1%が半分の11%台になれば」に対し「4億7千万円ぐらい浮いてくる」という回答であった。

実質公債費比率を下げる努力、少しでも我慢する行政を続けていかねばならないと思う。考えを伺う。

A平成18年度から地方債の許可制度が協議制度に変わった。残念ながら、我が市は実質公債費比率が18%を超えていた

ので、依然として許可団体である。公債費負担適正化計画を立てて、なお、その計画がいいというところが認められないと起債の発行が許可されないことになっている。昨年の推計では平成20年度は

22・2%とみていたが決算では21・8%と若干予定より早くなっている。今後の地方債の発行についても、例えば学校関係は交付税措置がある。それから下水道事業、これも交付税がある。従つて、新しい市債の発行も極力交付税措置のあるものに限定し、なおかつ来年度からの第2期まちづくり交付金事業についても極力地方債の発行をしないようにと考えている。

Q沖田川治水対策は期成同盟会を毎年行つても、国や県へ陳情を行つても1年に19mしか進まない。どの事業よりも優先して進めるべきだ。

A完成年度(平成28年度)が目途で少しでも前倒ししてもやってくれとお願ひしている。

委員会

9月定例会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は2件であり、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

- ▼平成21年度滑川市一般会計補正予算(第2号)
- 滑川市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について

■産業厚生建設委員会

審査議案は5件であり、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

- ▼平成21年度滑川市一般会計補正予算(第2号)
- ▼平成21年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成21年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成21年度滑川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆市道の路線認定及び廃止について

■決算特別委員会

審査議案は1件であり、各会計決算については賛成全員により認定すべきものと決定しました。

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。

〔歳入〕

1 市税及び国民健康保険税については、厳しい経済環境ではあるが、引き続き徴収に努力され、所得の源泉の把握、差押えの実施など厳正に対処され収納率の向上に努められたい。

2 市営住宅の家賃滞納について、連帯保証人制度を効果的に活用され、時効による取立不能(不納欠損)とならないよう留意されたい。また、多額の滞納者に対し法的手段等による滞納額の減少に鋭意努力をされたい。

3 国民健康保険税、上下水道使用料、下水道事業受益者負担金の収納率向上に努められたい。

4 市の未利用地、特に旧水産試験場跡地や区画整理地内の保留地については処分を早急に実施し、財源確保のため鋭意努力されたい。

〔歳出〕

1 超過勤務調への報告書では、職員の超勤時間が依然として多い。仕事量と人員配置を十分に検討され、週休・休日の振替等により超勤時間数の縮減を図られたい。

2 時勢に従い補助金交付団体の実態が変化しているにもかかわらず、依然として前年踏襲の補助が続けられているケースがある。団体補助の内容を見直し、活動実態や状況に見合ったものになるよう検討されたい。また、同じような事業に補助金の名称が多すぎて中身がわからないなど、事業内容が解るよう事業名の精査をされるよう努められたい。

3 財産に関する調書について、地上権の記載がなされていない。財産を確実に把握するためにも、今後、明記するよう努められたい。また、有価証券に対し、額面表記だけでなく実勢価格を明記するよう努め、必要でない株を精査し、早急に処分することを検討されたい。

4 不動産取得に係る議決要件は、面積5千平方メートル以上、及び金額2千万円以上の物件となっている。平成20年度中に寄付を受けた不動産物件「滑川市野町250番地 外1筆・地目(田)、面積2238平方メートル(約678坪)」は、宅地推定価格約7千万円と目される。

今後は、寄付を含む不動産取得については、面積、または金額のいずれかの要件を満たせば、担当委員会に報告することとされたい。

5 コミュニティ番組制作については、予算の制約もあるが、地域に根ざした魅力ある番組制作を目指し、身近な話題の提供、独自取材など、内容の改善を図り、市民に愛される番組となるよう努力されたい。

6 老朽化著しい児童館の改築や、寿泉閣解体後の跡地利用を含めた行田公園周

辺(未買収地区含む)の活用計画を早期に策定し、示されたい。

7 独居老人緊急通報装置と高齢福祉推進員制度の効果的かつ実効性を高めるため地理的な適正配置(近距離配置)を十分考慮し、制度を活かすよう努められたい。

8 福祉見回り隊とケアネット事業(社会福祉協議会)の区分が曖昧なので、事業の精査について検討されたい。

9 高齢者の生きがいづくりや、健康維持といった観点から、市内民間公衆浴場の経営存続を図るため、公衆浴場設備改善補助金の補助率を上げるなど、早急な支援策を講じられたい。

10 食生活改善推進事業について、以前は食生活の向上を目的としていたが、今後は、食育を取り入れた事業の推進、強化を図り、医療費の抑制や縮減、健康増進への寄与を目指されたい。

また、当市の地産地消における学校給食用の野菜の納入品目は15品目であるが、目標の30品目には程遠い。学校給食用蔬菜園の拡大を図られたい。

11 厚生連滑川病院は、市民病院的な性格を持つ重要な医療機関にもかかわらず助成金が少ない。産婦人科医師の減少や内科の医師が6人から3人になるなど病院としての機能の脆弱化が見られる。市内で「産み、育てる」という場を維持し、少子化に歯止めをかけていくためにも、市の助成等の拡充を検討されたい。

12 資源再利用推進報奨金については、実際、リサイクル等の仕分け作業を町内会のボランティアが行っていることを鑑

み、広域圏から来る報奨金の全てを各町内会に渡し、行政側の事務的経費は行政が負担するよう見直されたい。

13 新川育成牧場への預託牛は、数年前から実績がない状態にもかかわらず、毎年約1200万円を支払い続けている。当該組合からの離脱なども視野に入れ、検討されたい。

14 開館以来十数年、入場者数の減傾向にある「ほたるいミュージアム」「タラソピア」は観光施設であり、市民の憩いの場でなければならない。市民に愛される公共施設を目指し、早急に公募した市民を含めて構成する「再生プログラムPT」を立ち上げ、サバイバルプランを作成するなど、真の再生への道を模索し、推進されたい。

また、富山県と市がタイアップして取り組む「メタボリック症候群に対する海洋深層水温浴の効果に関する共同研究」はタラソピアの浮沈に関わる起爆剤となり得るものであることを踏まえ、徹底した調査研究のうえ、早期に学術的根拠を提供できるよう努められたい。

15 近年、商店街改造資金の貸し出し実績が見られない。実績のない貸付金は、存廃を含め検討されたい。

16 寄付を受けた経緯もあり、「菖蒲のまち滑川」にふさわしい維持管理の充実を図られたい。

17 市道用地買収に係る抵当権の一部抹消費負担について、売主負担か市（原因者）負担の是非について、検証されたい。

18 消防署職員は、「消防のプロ」であ

ることを認識し、消防施設設備点検等の消防に関する資格取得に努め、点検等については消防職員自らが行うよう検討されたい。

19 将来予想されるインフルエンザ処置や化学災害に備え、消防署保有の化学消防服について、購入の年次計画を立てて増加を図り、実際に定期訓練等で使用するなど、有事の際に備えられたい。

20 郷土芸能を伝承するため、補助金の増額を検討されたい。

21 国民健康保険事業及び介護保険事業については、市が単独で事業を実施しているが、今後については、広域連合などによる事業実施を検討されたい。

22 国民健康保険事業における医療費・保険給付費の抑制、縮減を図り、加入者負担の軽減につなげるためにも、後発医薬品の導入等の情報収集に努め、利用促進について検討されたい。

23 介護保険において、要介護度4、5などの方が、所得税の障害者控除対象であることなど、市民に周知されていない制度が多々ある。情報弱者である高齢者や障がい者に不利益にならないよう、周知徹底を図られたい。

24 工業団地造成事業について、企業からの要請で造成するのであれば、造成する前に、リスクを避けるため慎重を期して企業との覚書きや仮契約などを行ってから事業を推進されたい。

25 水道老朽管の布設替工事とは、今後で

9月定例会での本会議の結果について

議 案 内 容 等

- ◎議案第73号……………原案同意（賛成全員）
滑川市名誉市民の推挙について
- ◎議案第66号～議案第72号……………原案可決・認定（賛成全員）
平成21年度滑川市一般会計補正予算（第2号） 外6件
- ◎議案第74号……………原案同意（賛成全員）
滑川市教育委員会の委員の任命について
- ◎議員提出議案第3号……………原案可決（賛成全員）
身近な地域で安心して妊娠・出産できる制度の充実を求める意見書
- ◎議員提出議案第4号……………原案可決（賛成多数）
地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書

賛成者＝高木・原・岩城・中島・浦田・開田・中川・澤谷・野末・高橋・前田・上田・相川
反対者＝古沢・島川

採 決 結 果

9月定例会での①議員提出議案、②請願・陳情、③意見書提出要請、④要望書について

件 名 及 び 提 出 者

処 理 結 果

- ① 議員提出議案（2件）
 - 1 身近な地域で安心して妊娠・出産できる制度の充実を求める意見書……………議会運営委員会一致
滑川市議会議員 島川 実 外5名（議員提出議案第3号）
 - 2 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書……………議会運営委員会不一致
滑川市議会議員 野末 利夫 外4名（議員提出議案第4号）
- ② 請願・陳情（なし）
- ③ 意見書提出要請（なし）
- ④ 要望書（なし）